

トピックス

● 中瀬製錬所の新厚生棟「令和館」が稼働

昨年8月に中瀬製錬所(兵庫県養父市)内に新厚生棟「令和館」を完成させ、同年9月より運用を開始しました。新厚生棟の建設は粉塵対策の徹底、労働環境の改善、福利厚生の実施を目的とし、粉塵環境と遮断できるスペースや設備を導入いたしました。延べ床面積570平方メートルと十分なスペースを確保していたことから、今回の新型コロナウイルス感染症防止対策においても、有効に活用することで、三密を避けることができ、安全で健康に働くことのできる職場づくりに貢献しております。



● 子会社の日本アトマイズ加工株式会社が軟磁性材料の生産能力増強

日本アトマイズ加工株式会社のつくば工場(茨城県牛久市)では、電子部品向けの各種金属粉末を生産しております。電子機器の高性能化により、パワーインダクタ向け軟磁性材料金属粉末の需要が拡大しており、これに対応するために、生産能力を引き上げることにいたしました。既存工場棟に接するかたちで建屋を増築のうえ、既存工場棟内の改修を行うことで、作業スペースを確保いたします。完工は11月中旬を予定しており、その後設備を導入し、来期より、つくば工場全体の軟磁性材料の生産能力約3割向上を実現いたします。

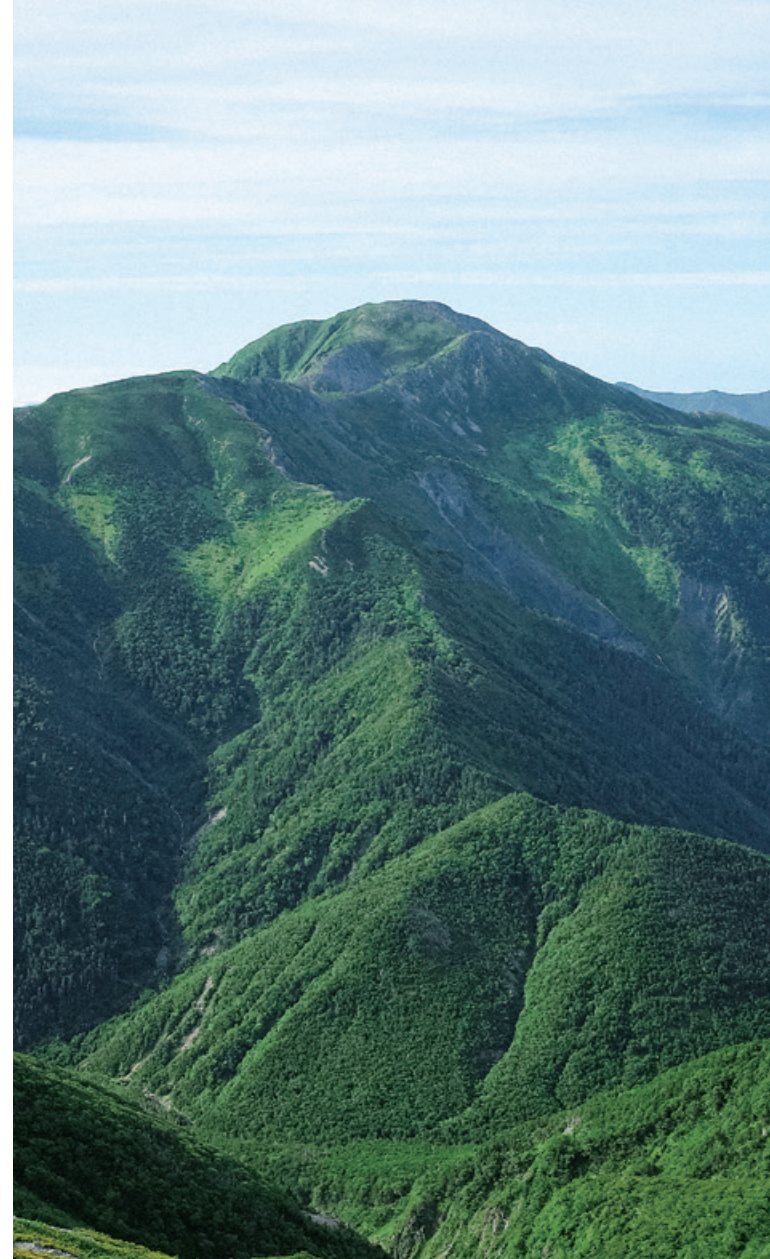


会社概要 (2020年9月30日現在)

社名	日本精鉱株式会社 NIHON SEIKO CO., LTD.
設立	1935年6月11日
本社所在地	東京都新宿区下宮比町3番2号 電話03-3235-0021(代表)
資本金	10億18百万円
事業内容	各種アンチモン製品等及び 各種金属粉末等の製造・販売
証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人
従業員数	連結 219名 単体 88名
連結子会社	日本アトマイズ加工株式会社 千葉県野田市 (各種金属粉末等の製造・販売) 日錫精礦(上海)商貿有限公司 中国上海市 (各種アンチモン製品等の販売)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会	毎年6月下旬
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問い合わせ先	0120-232-711(フリーダイヤル)
株式に関するお手続きについて(住所変更・買取請求等)	1. 証券会社等の口座をご利用の場合 お取引の証券会社等にお問い合わせください。 2. 証券会社等の口座をご利用でない場合(特別口座) 三菱UFJ信託銀行(電話0120-232-711)までお問い合わせください。
公告方法	電子公告< https://www.nihonseiko.co.jp > (ただし、やむを得ない事由によって電子公告ができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。)



第126期 中間報告書

2020年4月1日～2020年9月30日

株主の皆様へ

日本精鉱グループは
たゆまぬ改善による
事業基盤づくりを
おこなってまいります



代表取締役社長
渡邊 理史

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症に罹患された方々およびご家族の方々に心よりお見舞い申し上げます。

さて、当社グループの第126期の上半期(2020年4月1日～2020年9月30日)は、新型コロナウイルス感染症の世界的な流行などにより、社会経済活動が抑制され、景気が急激に悪化いたしました。

自動車、家電製品、OA機器、繊維製品など多岐に亘る産業分野での生産販売活動が停滞し、需要が大幅に減少した一方、テレワークに代表されるように、業務の効率化と働き方改革を目指すデジタルトランスフォーメーションに活用される電子機器向けの需要が増加いたしました。

これらの結果、当期上半期の連結売上高は前年同期比10.9%減収の4,931百万円となる一方、連結営業利益は同292.8%増益の484百万円、連結経常利益は同373.4%増益の484百万円、親会社株主に帰属する連結四半期純利益は同465.5%増益の337百万円となりました。

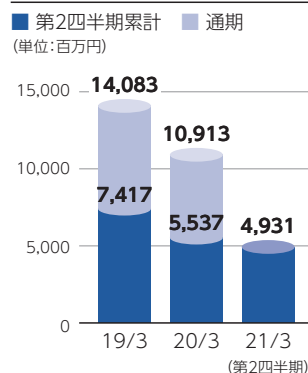
株主の皆様におかれましては、より一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月

連結財務ハイライト

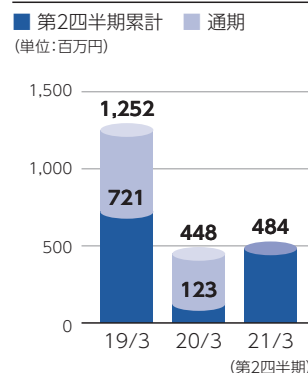
● 売上高

4,931百万円



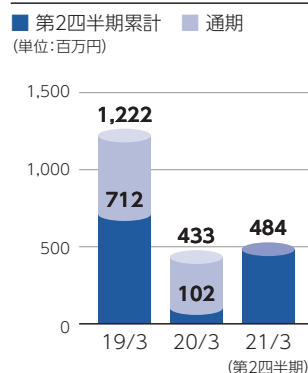
● 営業利益

484百万円



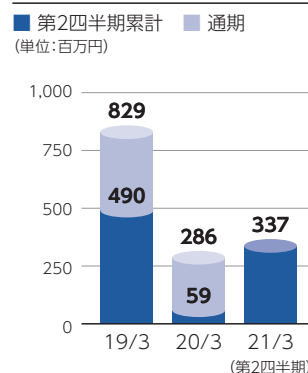
● 経常利益

484百万円



● 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

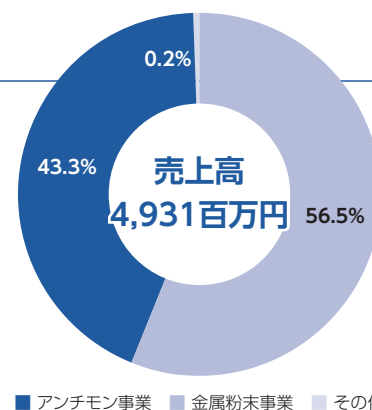
337百万円



セグメント別概況(連結)

● アンチモン事業

主製品の三酸化アンチモンは難燃助剤として、広範な産業分野に使われています。自動車、家電、繊維製品向けの需要減退と販売価格の低下により、売上高は前年同期比29.7%減収の2,133百万円、セグメント利益は同87.1%減益の12百万円となりました。下半期には生産設備の修理や電気設備の更新により、生産性の向上を図ります。



● 金属粉末事業

電子部品向け金属粉末は業務の効率化と働き方の変革を目指すデジタルトランスフォーメーションに活用される電子機器向けが堅調でした。粉末冶金向けは主に自動車部品に使われますので、需要が減退しました。売上高は前年同期比11.9%増収の2,787百万円、セグメント利益は456百万円(前年同期は3百万円のセグメント損失)となりました。

連結財務諸表

● 四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間 (2020.9.30)	前連結会計年度 (2020.3.31)
資産の部		
流動資産	6,750,022	6,497,675
固定資産	4,321,116	4,287,243
(有形固定資産)	3,891,524	3,892,719
(無形固定資産)	53,751	46,520
(投資その他の資産)	375,840	348,003
資産合計	11,071,139	10,784,918
負債の部		
流動負債	2,800,297	2,817,888
固定負債	730,194	680,942
負債合計	3,530,492	3,498,831
純資産の部		
株主資本	7,518,563	7,273,112
その他の包括利益累計額	22,083	12,975
純資産合計	7,540,646	7,286,087
負債純資産合計	11,071,139	10,784,918

● 四半期連結損益計算表(要旨)

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (2020.4.1～2020.9.30)	前第2四半期連結累計期間 (2019.4.1～2019.9.30)
売上高	4,931,909	5,537,987
売上総利益	921,475	609,552
営業利益	484,725	123,416
経常利益	484,701	102,385
税金等調整前四半期純利益	483,620	101,656
四半期純利益	337,022	59,602
親会社株主に帰属する四半期純利益	337,022	59,602